

議事

(1) 第3次菊川市男女共同参画プラン令和3年度進捗状況について

・・・資料1-1、1-2、1-3を説明

○委員

出前行政講座について、初期からすでに申込みがないという状態で、コロナの影響ではないと思います。もうこのように申込みがないと、新たな事業に変えていくことを考えた方がいいと思います。出前行政講座のメニューをPRして、増やすという方法は難しいと思います。違った形でアプローチしていかないと、ここの評価は永遠に「△」か「×」です。

ID3の「中高生への男女共同参画啓発」について、教育関係は、周知や啓発活動しやすいと思います。国からの高校の指導要綱があるように国に任せておいても大丈夫だと思います。市として働きかけをするには、学校関係はやりやすいと思います。

最後に、ID48「女性職員の各種研修機関等への派遣促進」について、まず、参加しやすい環境になっているかどうかの把握が先で、職員の方にいくら呼びかけても、「大変だから参加できない」といわれてしまう。どの職場もそうですが、環境が整っていれば、どんどん参加していくかなと思います。職員がなぜ参加しにくいのかという現状を把握していないと、ここも永遠と評価が「△」か「×」となってしまうと思います。

○事務局

出前行政講座の実施について、第4次プランにも事業として位置付けましたが、出前行政講座のあり方やどこをターゲットにしてくか、改めて検討していきたいと思います。

ID48「女性職員の各種研修機関等への派遣促進」について、市の職員が、専門研修に参加する事業を掲載しています。ここ数年はコロナの影響で、参加ができていません。専門研修や、全国的に開催される研修も、オンラインが導入されて、参加しやすくなっているため、引き続き、参加方法を含めて検討していきます。新しい考えや情報の収集を、アンテナを高くしていきたいと思います。引き続き、取組みを進めていきます。よろしくをお願いします。

○委員

先ほど話があったジェンダーギャップ指数を上げるには、市として、菊川市男女共同参画プランのどこに力を入れればよいと考えますか。

○事務局

日本のジェンダーギャップ指数の順位は、現在116位です。特に、政治分野の順位が低いです。市としてこれに近いものが、市の審議会等への女性登用率を上げていくことだと思います。現在33%を目標に設定しているのですが、この指標を達成していくことが必要だと思います。

○委員

資料1-3について、市民アンケートの結果を指標にしているのですが、例えば、「男女が個人として尊重され、ともに個性や能力を發揮できるまちだと思ふ人の割合」や「安心して子どもを育てられるまちだと思ふ人の割合」がありますが、回答する人が、何をもちて判断しているのでしょうか。アンケートなのであまり難しくしてしまうとよくあ

りませんが、「何をもって判断しているか」という設問などがあれば、それにもっと力を入れていけばいいし、逆にここがダメですという意見があれば、そこを改善していくなど対応ができると思います。アンケートがあまりややこしくなるのも嫌ですが、根拠がわかれば、取組みができるのではと思いました。

資料1-2ののですが、幼児の男女共同参画の啓発活動や小学生への職業講話などは、これから菊川市の人になる方に向けたもので、大切なことなので、継続して欲しいと思いました。また、啓発活動の中で、小学生への職業講話がありますが、加えて、菊川市内の職場の紹介や菊川市の取組の女性への職業支援を行っていることなどを啓発してもよいのではないかと思います。

○事務局

女性の働く場所や活躍する場所について、菊川市でも、ハローワークが来て毎月1回「なでしこワーク」という取組を行っています。また、市内にも静岡県男女共同参画社会づくり宣言事業所がいくつもあります。事業所との連携を取りながら、事業を進めていきたいと思っています。現在実施している内容を整理した上で、必要な啓発や追加事業、見直しを行っていききたいと思っています。

○委員

ID1、2、9の園児や小学生、保護者に対する男女共同参画意識啓発について、続けていてよいと思います。もし可能であれば、小さな子どもはこのように育てていけば素直にそのように10年20年も育っていきます。一方、その保護者世代ですと、上の世代よりもお父さんとお母さんが、家庭の中で変わらないことをしているという印象がありますが、まだ男性の方が仕事という印象が強いところがあります。各家庭でのあり方なので、1軒1軒全部違っていいと思いますけれど、もし少し意識を変えていこうと思ったときに、園児への読み聞かせだけでなく、その保護者の参観会のときに事業の紹介をすることや、1年生の家庭教育学級などを活用することがよいと思います。小学生への職業講話はまだ早いと思いますが、絵本の読み聞かせを実施するとか、3、4年生への職業講話の実施について、保護者へ資料を配布されているようですが、やはり直接参観会や懇談会などを利用したほうが、市役所が啓発活動をしていることを知ってもらえるのではないかと思います。また、参観会や懇談会にはお父さんお母さんあるいはおじいちゃんおばあちゃんが来られる家庭もあるので、このような機会に直接伝えていけばよいと思います。資料としてもらったものは見ない人は見ないと思います。直接働きかけをしていくことがよいと思います。

○事務局

コロナの状況で参観会や懇談会が軒並み中止になってしまうなど、状況が変わってきていると思います。そのような中でも、できることはやっていきたいと思っています。いろいろな分野・世代の方へPRしていく必要があるため、確かにおっしゃるとおり、子どもの親世代に対する働きかけがとても大切だと私も思います。先ほど、御指摘いただいた男女共同参画の出前行政講座を懇談会などで活用してもらおうような働きかけをするなど、さまざまな部署と連携できればいいと思います。また、読み聞かせを実施したら、おたよりを作成するなど検討していきたいと思っています。さらに、教育現場のことは教育委員会と協議して、できることからやっていきたいと思っています。

(2) 令和4年度男女共同参画事業について 資料2、別紙1、別紙2、別紙3、当日資料を説明

○委員

園児の読み聞かせについて、勤務している園があるのですが、それ以外なら、協力していきたいと考えます。

○委員

保育園や中高生など、子どもが小さい保護者へのアプローチが積極的でいいと思います。逆に40歳代や50歳代の仕事が忙しい世代、時間に対して余裕が少ない中高生の保護者世代へのアプローチが弱いかと思います。

実際にイベントや読み聞かせなどをやっていると思いますが、御家庭でイベントや読み聞かせをやったことの報告をするように、一言付け加えるなど、また、先生からレジュメを配る際に一言伝えてもらうなど協力してもらおうと、その世代へのアプローチが上がってくるのではないかと思います。

○事務局

ありがとうございます。「家に帰ってから保護者へ話してください」など一言付け加えるようにします。また、実際事業をやっている担当課にもそのように対応するように相談をさせていただきます。ありがとうございます。

○委員

男女共同参画啓発イベントの展示コーナーについて、展示は1階ですか。

○事務局

1階で行う予定です。